

メンタル不調者の職場復帰支援の実際

～新潟障害者職業センターの職場復帰支援（リワーク支援）～



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
新潟支部 新潟障害者職業センター

本日の内容

- 新潟障害者職業センターの概要
- 職場復帰支援（リワーク支援）について
- よくあるご質問

新潟障害者職業センターの概要

新潟障害者職業センターについて

当センターでは、ハローワーク等と連携し、障害のある方の就職や職場定着、職場復帰についての相談や支援のほか、事業主の皆様へは障害者雇用や復職に関するご相談や支援も随時承っております。また、関係機関に対しては就労支援に関する助言や支援ノウハウの提供等を行っています。

【母体】



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）は、高齢者の雇用の確保、障害者の職業的自立の推進、求職者その他労働者の職業能力の開発及び向上のために、高齢者、障害者、求職者、事業主等の方々に対して総合的な支援を行っています。

- 全国の各都道府県に各一か所。
北海道、東京、愛知、大阪、福岡は支所も設置。
- 平成17年10月からうつ病等での休職からの職場復帰支援（リワーク支援）を全国の障害者職業センターで開始。

対象とサービス内容

①障害者

- ・就職前～就職後の具体的な支援を個々の障害状況や特性に応じて継続的に実施。

職業相談、職業評価、職業準備支援、
ジョブコーチ支援、リワーク支援等



②事業主

- ・雇用のための準備～雇用継続～退職後の職場復帰に関する相談や助言、援助、各種情報提供等を実施。



③支援機関

- ・当機構における実践や研究等により得られた知見をもとに、就労支援の方法等に関する助言や援助、各種研修（就業支援基礎研修／就業支援実践研修）等を実施。



ハローワークや障害者就業・生活支援センター、その他関係機関と連携し、上記サービスを行っています。

<ご利用について>

- 当センターの各種サービスは、すべて無料です。
- 障害者手帳の有無は問いません。
- 来所での相談は予約制です。あらかじめお電話等
でのご予約をお願いします。



所在地

新潟県新潟市東区大山2-13-1

電話

025-271-0333

開庁

8:45～17:00(土日祝日、年末年始休暇を除く)

FAX

025-271-9522

HP

<http://www.jeed.go.jp>

Email

niigata-ctr@jeed.go.jp

職場復帰支援 (リワーク支援) について

職場復帰支援（リワーク支援）とは？

体調は回復してきたけど、休まず出勤したり仕事についていけるか不安



復職しても、また休んでしまうのではないかな…



休職者

休職者・主治医・事業所と連携しながら円滑な職場復帰をサポートします！

・復職前の準備を提案したいが…
・本人から復職希望が出たが、どう進めたらよいかわからない



事業所

・職場復帰に向け、毎日の活動量を増やしてほしい
・これまでの働き方や職場でのコミュニケーションについて振り返ってほしい



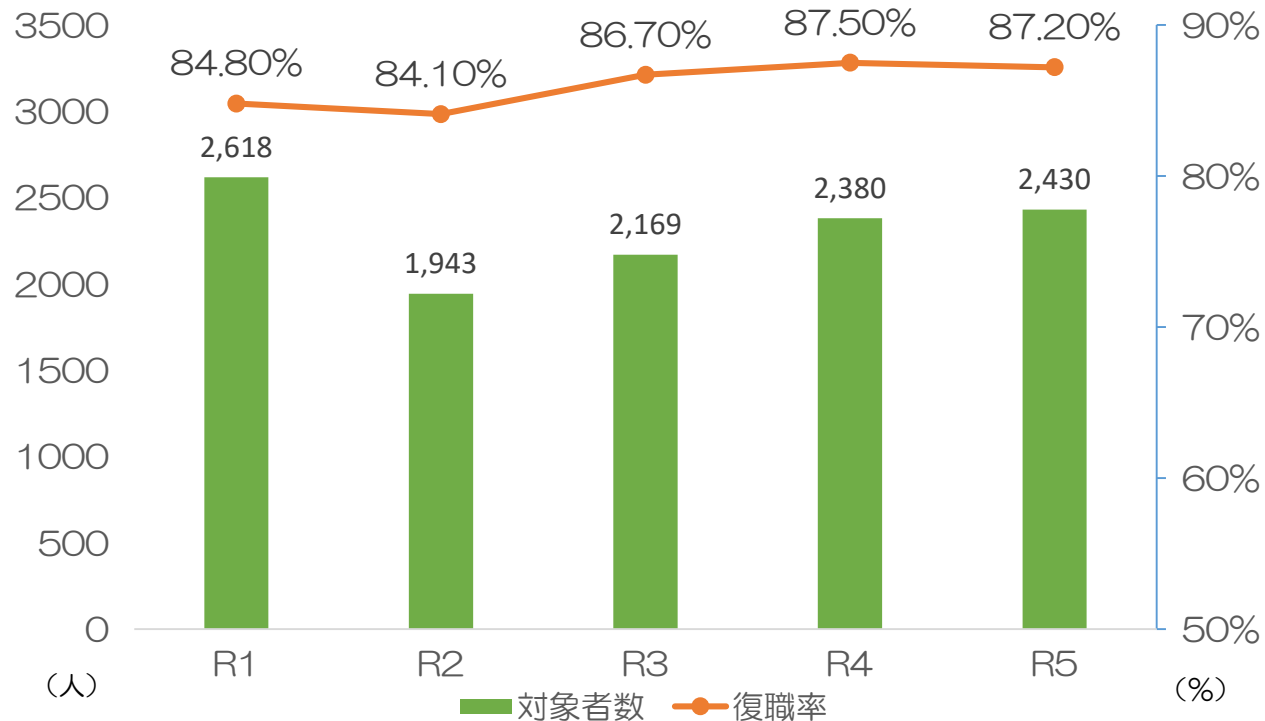
主治医

職場復帰支援（リワーク支援）とは？

目的	●生活リズムの立て直し ●作業の集中力・持続力の回復 ●再発予防のための準備（病気の理解、ストレスや疲労への対処方法の整理、対人スキルの確認、働き方の再検討 など）
内容	（休職者）センターに通所（基本は 月～金 9：50～15：00） 作業課題（PC・事務作業、軽作業等）に従事 各種講習やグループミーティングに参加 （事業所）雇用管理や職務再設計に関する助言 （例：期間中に本人と職場を訪問し、状況報告等を実施） リハビリ出勤や慣らし勤務など、段階的な取組みに関する 調整、提案 ほか
期間	●標準8～12週 ※状況に応じて期間を調整 ●開始前に体験利用（2～3週間程度）を実施
受講の要件	●うつ病等のメンタル疾患により休職中の方 ●三者の合意（①本人の利用希望 ②主治医の許可③企業担当者の同意） ※公務員の方のご利用はできません

全国の利用実績

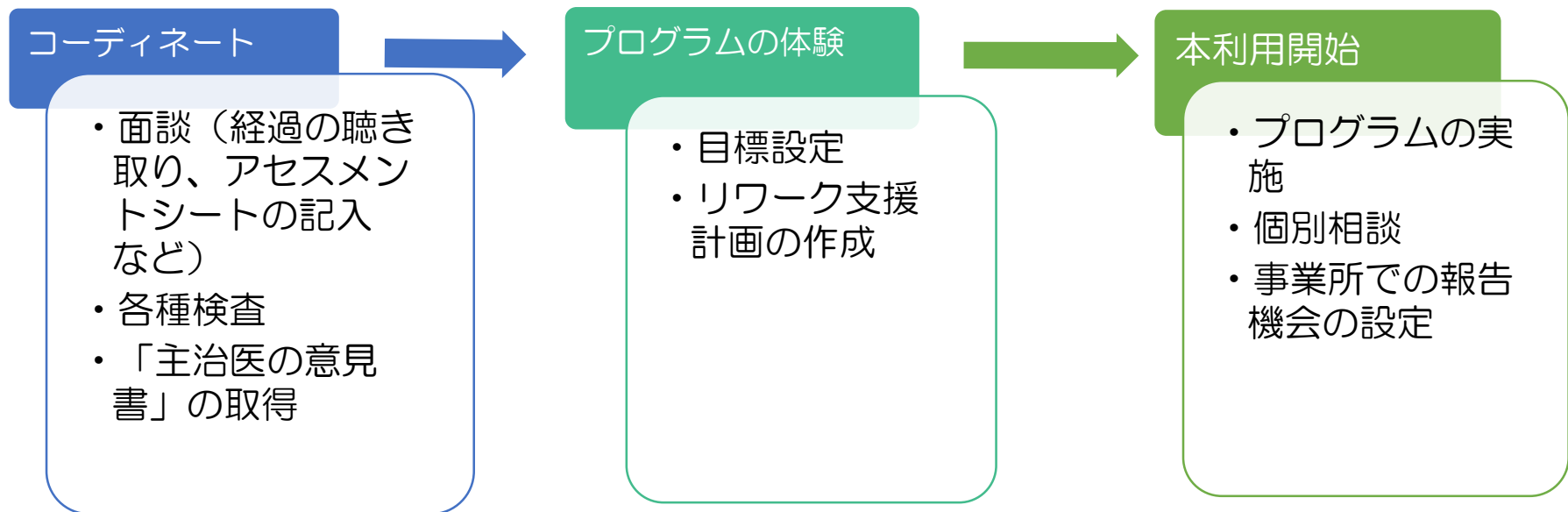
リワーク支援の対象者数・復職率の推移



【新潟センターの実績】

R2	開始者15人	復職率92.9%
R3	開始者24人	復職率72.0%
R4	開始者15人	復職率94.7%
R5	開始者24人	復職率91.3%

リワーク支援の流れ



頻度	1～2週間に1回程度 （1か月程度）	1週間に2～3回程度 （2～3週間程度）	週3～4回 （8～12週程度）
----	-----------------------	-------------------------	--------------------

事業所や病院訪問
三者合意

リワーク支援
計画

報告会

復職の手続

復職

障害者職業センターのリワーク支援の特徴

- 休職者、事業所、主治医の三者の同意に基づく。
- カリキュラム内容や実施期間など、個別に計画を作成。
- 本人と事業所の双方に対して支援を行う。
- 講座による知識付与と作業を通したウォーミングアップの構成。
- 全国の職業センターで基本的なフレームは共通（講座・作業メニューは若干の地域差あり）。
- 職業リハビリテーションのサービスであり、医療ではない（医師・看護師など医療スタッフは不在）。

本人・事業所ともに目的意識を持って、
効果的なタイミングで利用することが重要！

休職開始～リワーク支援の依頼まで

【休職開始】

- まずは治療と休養に専念することを、従業員に伝える。
- 事務手続き、休職中の賃金、休職可能期間などを伝え、安心して治療に専念できるようにサポートする。
- 休職中の連絡方法について取り交わす。連絡を取る相手（直属の上司、人事担当者、産業保健スタッフ等）を決める。精神的な疲弊が大きく電話での連絡が過度の負担となるようなケースは、初回の連絡は電話が可能な程度に回復したと感じられるようになった段階で、本人からしてもらうパターンも。

【休職中】

- 病的な状態を脱し日常生活が一定程度送れるようになった段階、主治医も面談に行くことを認めている段階、会社で足を運ぶことができるようになった段階で、定期的な産業医面談を開始。
→ リワークの利用を検討しはじめるタイミング

実際の依頼時によく聞かれる声

体調は回復してきているが、本人が復帰に踏み切れないようだ

何回目かの休職。このまま復帰させると、再度休んでしまわないか心配

メンタル疾患での休職者は初めてなので、このまま復帰させてよいかわ不安

休職期限が迫ってきたが、このまま復帰させて大丈夫だろうか。復帰前にどこかに通う習慣を取り戻させたい

復帰の前に、できることはやっておきたい

メンタル疾患だけでなく発達障害の診断もでている。障害特性を整理してから復帰してもらいたい





職業リハビリテーションにおける リワーク支援開始のタイミング

- 理想としては、「就寝・起床のリズムが安定、図書館に行くなど週数日定期的に軽めの活動ができる状態」になった頃
- タイミングの見極めに不安がある場合、定期受診の際に「障害者職業センターのリワーク支援を利用したい」旨、本人から主治医に相談してもらうことをお勧めします
- その他、リワーク支援開始に係る全般的なご相談を承っております。判断に迷ったら、まずはお気軽にお問合せください

実施前のコーディネート（調整）
で行っていること

リワーク支援のコーディネート (相談受付～実施への調整)

- 休職者、事業所、主治医の3者に対し、リワーク支援の事業内容の説明、利用意思の確認、実施までの調整を行います。
- この中では、休職者、事業所と共にこれまでの経過を振り返り、復職準備として必要な取組み事項の確認や、復帰に向けての具体的イメージの共有ができるよう図っています。

リワーク支援のコーディネート（休職者）

- 活動記録表を用いて、現在の生活リズムや体調を確認（状況によっては、生活リズムがある程度安定するまで相談を数回実施すること）。
- 休職に至る経緯を確認し、リワーク支援の中で取組みたい事項を整理する。
- 復帰に向けての現時点での希望を確認。
- 事業所や主治医との話し合い状況（どのような内容をどの程度相談しているか）を確認。



リワーク支援のコーディネート（休職者）

活動記録表		2 4 h		名前			
時間	月(/)	火(/)	水(/)	木(/)	金(/)	土(/)	日(/)
6:00							
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							
1:00							
2:00							
3:00							
4:00							
5:00							
就寝							
起床							
睡眠時間							
睡眠の質							
気分落ちなど							

【活動記録表にて確認するポイント】

- ・起床時間、就寝時間
- ・早朝覚醒、中途覚醒、入眠困難の程度
- ・日中活動の程度や内容（外出や昼寝の有無など）
- ・復帰を意識した活動の有無

新潟障害者職業センターで
使用している活動記録表

リワーク支援のコーディネート（事業所）

- 休職期限を踏まえて、リワーク支援受講に想定されるスケジュールを打ち合わせ。
- メンタル不調発症前後から休職に至るまでの休職者の状況や職場環境などについて聴取。
- リワーク支援へのニーズを聴取。
（通所によるウォーミングアップ、セルフケアの知識やスキルの獲得、復帰後の働き方の検討など）
- 復職要件や復職までの流れ、手続きについて確認。
（産業医面談の有無やタイミングなど）
- 復職後の職務内容や配置（予定含む）について確認。



リワーク支援のコーディネート（主治医）

- リワーク支援で実施可能な内容、スケジュールについて説明。
- コーディネート中に得られた情報（休職者・事業所）を主治医と共有。（同意を得たものについて、必要に応じて）
- 当センターから主治医にリワーク支援の実施方法について助言を求める。（進め方のペース、特に重点を置いた方がよいポイントなど）



ここからリワーク支援の具体的な内容についてご案内します。



納品書を見ながら請求書の誤りを訂正する

納品書

株式会社〇〇物産 様

〇〇商事株式会社

〒100-0000 東京都中央区〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

TEL 03-XXXX-XXXX FAX 03-XXXX-XXXX

合計金額 ￥298,338

下記の通り請求申し上げます。

商品名	数量	単価	計(税込)	備考
ア-1000N-G	4	¥200	¥800	
ア-250P	9	¥900	¥8,100	
EAS-CL-B2	3	¥3,690	¥11,070	
サハ-60R	97	¥1,350	¥131,455	
ア-MT160P	3631	¥850	¥3,086,550	
マア-320YV	45	¥500	¥22,500	
IS-M10N	418	¥12,380	¥5,152,840	
EDL-303	2	¥1,710	¥3,420	
アラ-121B	38	¥7,580	¥288,040	
カヒ-200Y	4	¥180	¥720	
ア-1055-R	13	¥9,080	¥118,040	
TY-LAZ11	13	¥450	¥5,850	
合計			¥9,298,338	

請求書

株式会社〇〇物産 様

〇〇商事株式会社

〒100-0000 東京都中央区〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

TEL 03-XXXX-XXXX FAX 03-XXXX-XXXX

合計金額 ￥19,244

商品名	数量	単価	計(税込)	備考
ア-1000N-G	4	¥200	¥800	
ア-250P	9	¥900	¥8,100	
EAS-CL-B2	3	¥3,690	¥11,070	
サハ-60R	97	¥1,350	¥131,455	
ア-MT160P	3631	¥850	¥3,086,550	
マア-320YV	45	¥500	¥22,500	
IS-M10N	418	¥12,380	¥5,152,840	
EDL-303	2	¥1,710	¥3,420	
アラ-121B	38	¥7,580	¥288,040	
カヒ-200Y	4	¥180	¥720	
ア-1055-R	13	¥9,080	¥118,040	
TY-LAZ11	13	¥450	¥5,850	
合計			¥9,298,338	

840が480
になっている

23, 625が
28, 625に
なっている

3, 591が
5, 391に
なっている

6, 552が
6, 522に
なっている

文書入力

上の文書を下のスペースに入力して下さい

挨拶行動と同様に、敬意の無いことの表明となる。

レベル1：漢字仮名交じり文、平均25文字

200字(10分間)はスピードアップすることはありません。

レベル2：漢字仮名・数字交じり文、平均30文字

ラクロスのフィールドの大きさは縦100m、横48m〜55mであった。

レベル3：漢字仮名・英数字交じり文、平均35文字

OA机(品番 37-1000-1)は在庫切れのため、納品は5月末以降となります。

レベル4：漢字仮名・英数字・半角全角交じり文、平均40文字

先日は、イオン浄水器「OA-20型」についてお問い合わせいただきありがとうございました。

レベル5：漢字仮名・英数字(人名含む)・半角全角交じり文、平均45文字

リワーク支援スケジュール（例）

	月	火	水	木	金
AM 10～12 時	生活記録 確認	アサーショ ン講習	ジョブリ ハーサル	キャリア講 習	個別課題
PM 13～15 時	ストレス対 処講習	個別課題	休講	個別課題	修了レポー ト発表

※ 出席日数や出席講座の内容は、状況や目的によって調整します。

受講の流れのイメージ

体験（2～3週間）

- ・ 作業や講座への体験参加。
- ・ 出席状況、現在の作業能力、受講に係る目的意識を確認し、本利用に向け計画を作成。

開始打ち合わせ

- ・ 本人、職場の担当者を交え、計画内容を説明。本利用～職場復帰までの流れを確認。

受講期間前半

- ・ リワーク支援のカリキュラムに参加し、ウォーミングアップを図る。
- ・ 体力に余裕を感じてきたら、ウォーキングや仕事に関する勉強などの自主活動を並行。

受講期間後半

- ・ リワーク支援のカリキュラムに引き続き参加すると同時に、受講を通して振り返った内容の取りまとめを開始（終了レポートの作成）。
- ・ 来所日以外は、適宜、自宅で終了レポートなどの課題に取り組んだり、無理のない範囲でリワークで学んだことを生活の中で実践。

終了報告

- ・ 休職者本人が振り返り作成した内容、当センターからの所見を説明。
- ・ 職場復帰に向け具体的な流れを確認。

作業メニュー抜粋

受講		作業名	内容
	現 業 作 業	ピッキング	注文書に指示された条件にそって品物をそろえる。
		袋詰め	複数の部品を決められた手順で封入する。
		プラグ・タップ	ドライバーを使い、プラグ等を組み立てる。
	OA Work	数値入力	画面に表示された数値を指定された欄に入力する。
		文章入力	画面に表示された文章を指定された欄に入力する。
		コピー＆ペースト	画面に表示されたコピー元をコピー先の指定箇所にペーストする。
		検索修正	顧客データをデータを検索し、誤って入力された内容の修正を行う。
	事 務 作 業	数値チェック	納品書にそって、請求書の誤りをチェックし、訂正する。
		物品請求書作成	指定された条件にそって、物品請求書を作成する。
		作業日報集計	架空の工場の作業日報を元に、指定された日時・人物について、作業量や作業効率などを計算する。
		家計簿作成	ある家族のレシートや手書きなどから毎日の家計簿を作成する。
		Microsoft Office 演習	テキストの演習問題に取り組み、スキルの確認を行う。
		物品購入伺い作成	作業指示書を元に、架空の企業で使用する事務用品を物品請求伺いを作成する。
		コンビニわかばの売り上げデータ入力	架空のコンビニチェーンの顧客データ100人分を分析し、図やグラフを用いたわかりやすい報告書を作成する。
	集 団 作 業	新聞スクラップ (週1回)	新聞から記事を選び、記事の要約や感想をまとめ、一人ずつ報告する。
		ジョブリハーサル (隔週)	「職場」を想定した場面で、複数人で共通の課題に取り組むことを通して、習得したスキルや知識を活用し、話し合いながら実践することで実用度を高める。
	長 期 課 題	プレゼンテーション作成	講座「プレゼンテーション作成」の準備をする。他の作業と同時並行に作成に取り組み、準備に必要な時間、道具、作成スケジュールなどをスタッフと相談しながら作成を進める。
		レポート作成	講座「レポート発表」の準備をする。他の作業と同時並行に取り組み、準備に必要な時間、道具、スケジュールなどをスタッフを相談しながら作成を進める。
		業務管理課題	複数の課題について一度に指示を受けて、数日～2週間程度の期間で自身でスケジュール管理をしながら自立して進め、期日までに完了させることを目指す。必要に応じて、割り込み課題を設定する。 例：ピッキングL4～L6を各10枚、Word演習課題を2題、事業所業務改善レポート作成の3種の作業すべてを1週間以内に実施する。

講座メニュー抜粋

受講		講座名	講座の内容・目的
	ストレス対処	ストレスについて	ストレスについて基本的な知識を得る。
		ストレスコーピング（基礎編）	ストレス対処法について基本的な知識を得る。
		ストレスコーピング（実践編）	日常生活や職場で実践できるコーピングスキルについて検討する。
		ストレスを整理する	「ストレス状況整理シート」「ストレス5段階表」の作成を通じて、ストレスを把握しやすくなることを目指す。
		セルフトーク	無意識の心の声に気づき、気持ちを切り替えストレスを軽減させるためのストレス対処法を学ぶ。
		認知行動療法の考え方①②/コラムシート作成（3回）	認知行動療法の技法を参考に、「思考」に焦点を当ててストレスを感じた場面を整理する方法について知る。
		運動・リラクゼーション（隔週）	運動やリラクゼーションの紹介と実践（職場でできるリラクゼーション、バランスボール、ウォーキングなど）。
	再発予防	生活記録表確認（週1回）	1週間の生活リズムや体調確認等を行う。 ＊基本的に新聞スクラップ（月曜AM）の作業中に1人15分程度で実施。
		復職/就職のステップ（月1回）	今現在の自分の段階についての確認を行う。
		自分についての10個の質問	10個の質問に沿って自己に関する振り返りを行う。
		うつ病について	うつ病等について理解を深め、休職/離職に至った経緯などを振り返る。
		再発させない働き方を考える	復職/就職後、安定して働くためにどんな点に留意する必要があるか等を考える。
		レポート発表（1人1回）/発表聴講（都度）	レポート作成を通じて、これまでの働き方を振り返り、再発予防策について検討する。レポート発表時に、他の受講生と再発予防について意見交換を行う。
	ビジネス・コミュニケーションスキル	職場のマナーとルール	基本的な職場のマナーとルールについて確認し、「働く」ことについて考えを深める。
		手順書作成技能トレーニング（2回）	メモのとり方、情報の整理の仕方を理解することで、仕事の自立度、確実性を高めるための方法を知る。
		ナビゲーションブックの作成と利用について	ナビゲーションブック（自身の取扱い説明書）の作成のポイントを知る。講座受講後、スタッフの助言を得ながら自身で作成を進め、自己理解を深め、障害特性や会社に理解・配慮して欲しいことを整理する。
		対人技能トレーニング（JST）（4回）	職場で必要なコミュニケーションスキルについて、そのスキルが必要な理由を整理した上で、ロールプレイで練習することを通じ、習得を目指す（報告する、質問する、人の会話を遮る、人の後ろを通る時）
		アサーション（3回）	相手との違いを認め、気持ちの良いコミュニケーションを交わすための考え方とスキルを身につける。
		キャリアを見つめなおす（3回）	キャリアアンカーの理論をベースに、キャリアにおける価値観の確認、期待される役割の棚卸などを行い、今後のキャリアについて自己理解を深める。
		問題解決技法講座(2回)	問題を正しく把握し、柔軟で現実的な解決策を見つけるためのスキルを身に着ける。
		プレゼンテーション発表（1人1回）/発表聴講（都度）	自身で設定したテーマについて、他の受講生にわかりやすく説明する（1時間程度）。そのことを通じて、資料準備、期日管理、他者への説明などの練習をする。

ストレス対処講習

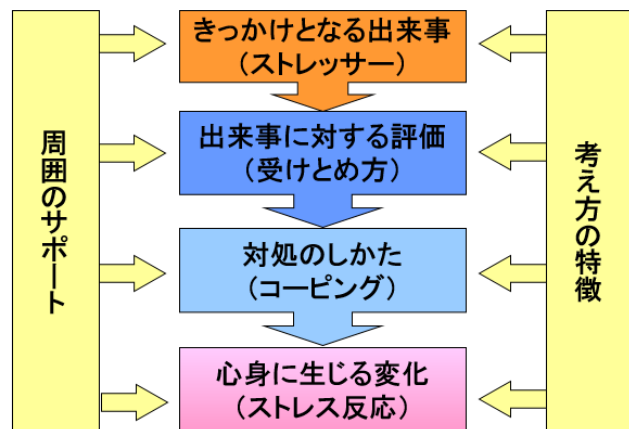
【ねらい】

職場で遭遇しがちな、ストレスを感じる場面における対処の方法を検討するための講座。

自身のストレスの感じやすさ（思考のクセ）に気づいてもらった上で、様々な視点から受け止め方を検証し、ストレス反応を軽減する。



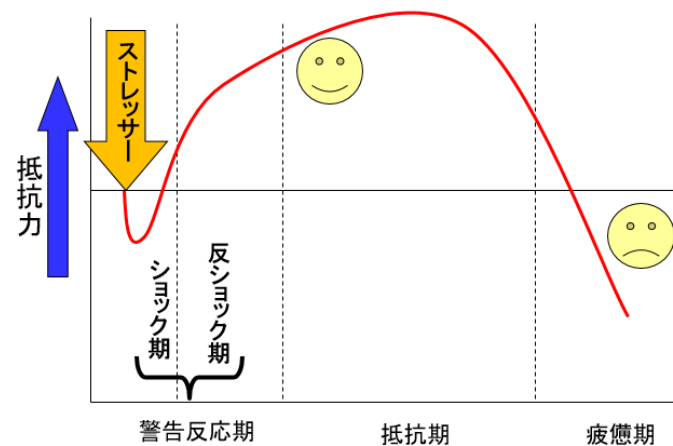
ストレス発生のプロセス



※ストレッサーがストレス反応に直結しているわけではない

参考: 嶋田 1998 を参考に作成

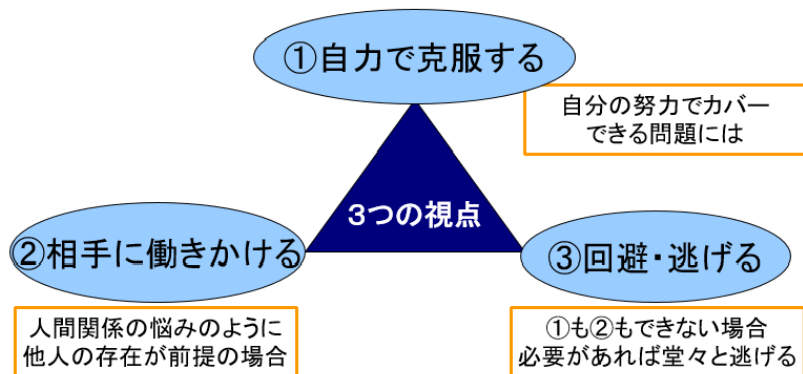
なぜストレスに気づきにくいのか



ストレス反応の発現パターン

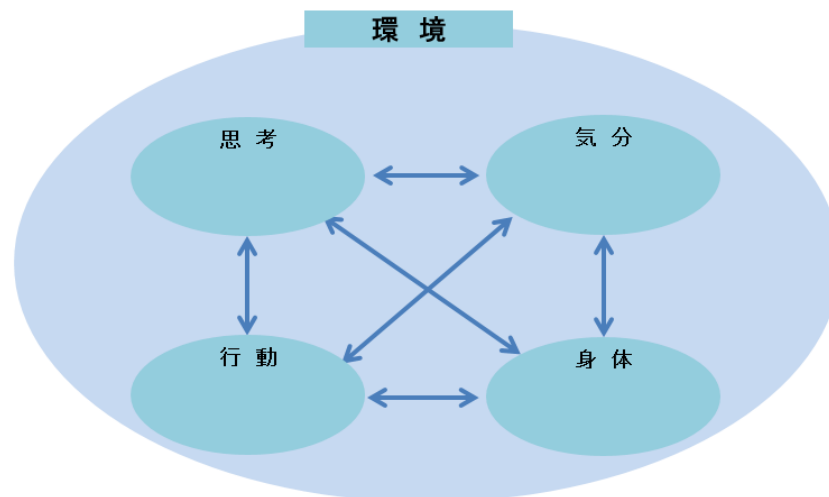
刺激に対するコーピング

ストレス発生の根源である刺激(ストレッサー)を明確にして除去・軽減を図る。



出典: 田中ウルヴェ京・奈良雅弘著: ストレスに負けない技術, 日本実業出版社, p31, 2005 を改変

生活体験の5つの領域①

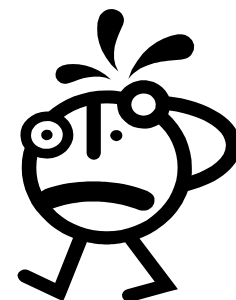


出典: ウィレム・クイケン、クリスティーン・A・パデスキー、ロバート・ダッドリー: 認知行動療法におけるレジリエンスと症例の概念化, p209, 2012 を改変

アサーション講習

<リワーク対象者の悩み>

- ・上司と相談のタイミングがつかめず、一人で背負ってしまった。
- ・自分の状況を説明できずに、仕事が溜まった。
- ・報告がうまくできなかった。
- ・病気のことをうまく伝えられない 等々



【アサーションとは】

自分も相手も大切にすることのコミュニケーション。
さわやかな自己表現。

【ねらい】

自分も相手も大切にしたい上で、自分の考えや
気持ちを伝えることのできるコミュニケーション
の方法を学ぶ。

自己表現のタイプ

攻撃的	自分はOK、相手はOKではない • 他の人への配慮にかける。 • 暗に嫌味やけなしを言う。 • 相手をコントロールしようとする。
非主張的	自分はOKではない、相手はOK • 自分より相手を優先させ、自分のことは後回しにしがち。 • 他人と対立することを極力避け、責任を逃れる。
アサーティブ	自分もOK、相手もOK • 自分の考え、欲求、気持ちなどを素直に、状況にあった適切な方法で述べる。

自己表現のタイプ（例）

（例）「残業が続いて疲れています。眠ろうとした時に、友達から電話がかかってきました。どうやら話が長くなりそうです。」

攻撃的	「非常識だなあ！俺は寝ようと思ってたんだ。電話はまた今度にしてくれ！」
非主張的	「あーあ、困ったなあ」と思いながら、「大丈夫？何かあった??」
アサーティブ	「実は残業続きで疲れていて、寝ようとしていたところなんだ。10分くらいなら話ができそうなんだけど？」

ジョブリハーサル

【目的】

模擬的な職場環境の中で、これまでのカリキュラムを通して習得した各種スキルを活用しながら、受講者がチームとして協力しつつ、ノルマ達成を目指し課題に取り組む。

【課題例】

- 忘年会の企画、プレゼンテーション
- 会社の健康増進計画の立案
- 映画館やコンビニの業務改善計画の提案 など

【設定】

- 1 チーム3～4人程度。
- PCやホワイトボードなど、作業室内の設備は利用可。

ジョブリハーサル Task (例) 「忘年会企画書作成」 課題指示書

《課題》

今日は12月1日です。職場復帰後3年が経過し、ほとんど体調を崩すことなく職場で働いていたと、課長から「部長から『社員全員が参加し楽しめるような忘年会を企画してほしい』と指示されたので、幹事として検討してほしい。」と言われました。メンバーで協力し合い、開催までの手続き、当日スケジュール、準備品、幹事の役割(to do リスト)などをまとめ、企画書として提出してください。

+

《社員の基本属性》

部長(男性): 仕事に厳しく、話しかけづらい。焼酎好き。

課長(男性): 優しく、いつも調整役を担っている。バイオリンが趣味。

A係長(女性): 遠方に住んでおり、一次会しか参加できない。

B係長(男性): 陽気な性格でカラオケが好き。

Cさん(男性:A係所属): 5年目の社員。唯一の外国人(インド人)でベジタリアン。

Dさん(女性:A係所属): 7年目の社員。育児休業明けで子供が小さく、飲み会にはほとんど参加しない。

Eさん(男性:A係所属): 10年目の社員。3か月前に糖尿病で入院していたことがある。来月他部署に異動予定。

Fさん(女性:B係所属): 5年目の社員。世話好きで誰からも好かれている。

Gさん(女性:B係所属): 2年目の社員。飲み会に懐疑的で、職場の飲み会には参加しないことが多い。

Hさん(男性:B係所属): 新人社員。

+

(備考)

・係が異なると、業務上は殆んど関わりがない。

・B系の職務内容には水曜日のみ夜勤があり、B係長以外のB系の社員が交代で対応している。

・親睦会費として毎月500円ずつ積み立てをしている。職場の飲み会は年2回あるので、今回は一人あたり3,000円の予算が使える。

+

終了レポート



リワーク支援で取り組んだことをもとに、復帰後の働き方について、「終了レポート（報告書）」という形で休職者自身が取りまとめる。

【終了レポート作成の効果】

- 文章にすることにより、リワーク支援を通じて振り返ったことや獲得したことを復帰後どう実践していくか、より具体的にイメージできる。
- 自身の今の状態や復帰後に求めたい配慮について、職場に伝えられるようまとめることで自ら理解が深まる。
- 復帰後にも折々に自分自身が振り返る資料として活用できる。

「コミック版4 障害者雇用マニュアル
精神障害者と働く」p72より

*実際にはA4数枚になることが多い。

近年のリワーク支援の動き (利用者像の多様化への対応)

【作業メニューの見直し】

- 幅広い受講者層に対応するため、現業系作業や集団作業、期日管理が必要な作業など、様々な設定を用意。

【発達障害がベースにある休職者への対応】

- 「職業準備支援」で提供している特性整理や職場の基本的なコミュニケーションスキル（「質問する」「報告する」など）を扱う講座を横断的に利用。
- ＊ 職場のコミュニケーションについての講座は、発達障害の確定診断がない方にも受講していただくことが可能です。

よくあるご質問



復職期限まであと2か月しかありません。
もっと短期で利用できませんか？

- 実施するカリキュラムを絞り、数週間で計画を作成することは可能です。
- ただし、これに伴って受講できる内容も限られますので、
①当該期間で復帰を目指せる程度まで体調が回復していること②期間に応じた受講内容となることを休職者・事業所・主治医の三者が了解していること、について、事前に確認の上での開始となります。
- 「休職期限には余裕があるが、体調が整っているので短期で受講して復帰したい」という要望を受けることもあります。その場合は休職者の現在の状況や休職の経緯、事業所と主治医の意見など確認し、所要の内容と期間をまずご提案し、ご相談させていただきます。



居住地が遠方のため、通所は困難です。
宿泊施設をあっ旋していただけますか。

- 遠方にお住まいの方（目安として、移動に片道2時間程度）は、受講期間中の平日に限り当センターがビジネスホテルを借り上げることが可能です。
- 週末のご自宅とホテルの往復や、ホテルから当センター間の交通費、滞在中の食費は、自己負担となります。
- 「希望するカリキュラムのみ、週数日の来所」という受講の仕方も可能です。詳細は個別にご相談いたします。

お問合せのお電話を
お待ちしております



職場復帰支援についての参考資料

- 「コミック版4 障害者雇用マニュアル 精神障害者と働く」

https://www.jeed.go.jp/disability/data/handbook/manual/emp_ls_comic04.html

- 「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055195_00005.html

「コミック版4 障害者雇用マニュアル 精神障害者と働く」

- 全ページ無料で閲覧可能（デジタルブック）。
- 第3章「精神障害者の職場復帰」

